



## 第4回地域・まちづくり委員会を開催しました！

1月26日（月）に開催した地域・まちづくり委員会ではウエルシア市原国分寺台店の2階にあるウエルシア・コミュニケーションセンターいちほら（ウエルコミ）に視察研修に行きました。同施設は市原市とウエルシア薬局株式会社が新たな公民連携のまちづくりのモデルとして2021年10月に設置されました。視察研修では、地域の交流、居場所としての役割や自発的な運営について、また4年経過した現在の様子や課題などをお聞きしました。



### ◆ウエルシア・コミュニケーションいちほらについて

市民活動団体の拠点、交流、相談の場所の不足という課題を抱えていた市原市に、ウエルシアより、有休スペースを市民活動の場として活用できないかとの打診があった。ウエルシアからの提案が、お互いの課題解決につながることから連携協定を締結し、開設の運びとなる。

1. 目的：市原市とウエルシア薬局が互いの人的・物的資源や地域の魅力を活かした事業に連携して取り組むことにより、新たな公民連携のまちづくりのモデルを構築し、市原市の掲げる都市像「夢つなぎ ひとがきらめく 未来創造年 いちほら」の実現及びSDGs達成の資すること

### 2. 連携協定内容

- (1) 市民活動等に係る新たな「まちづくり」の価値やサービスの創出
- (2) 健康の維持・増進に関すること
- (3) 地域共生社会の実現に関すること
- (4) 災害に強いまちづくりの実現に関すること
- (5) その他地域の活性化及び市民サービスの向上に関すること

### 3. ウエルコミの運営

市原市、ウエルシア、いちほら市民活動協議会の三者で「ウエルコミ運営委員会」を設置し、施設の企画、運営について月に一度程度協議をおこなう。

公民連携により自治体の慣習にとらわれない柔軟な企画・運営の実現

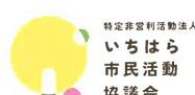
市原市(自治体)



ウエルシア薬局(企業)



いちほら市民協(団体)



#### 4. NPO 法人いちはら市民活動協議会

市原市における市民活動の中間支援団体。市内で活動する市民活動団体が協力し、2020年に設立。様々な団体同士の連携・協働を生み出すことで、社会課題解決や地域の発展を目指す。市民活動拠点「ウエルコミ」の管理運営を市原市より受託。施設の業務のほか、（1）市民活動団体間、市民活動団体と企業、行政組織の横断連携などの連携、促進による新たな価値創造の創出（2）ウエルシア薬局のリソースを活用、健康講座の開催や行政では難し民間企業との連携、またウエルコミで開催する企画への協力などの連携、（3）子どもから大人までが気軽に立ち寄れる場、また市内の「子どもの居場所の拠点施設」としての役割などをおこなう。

またウエルコミのラウンジを利用して子どもの居場所事業「ウエルキャン」をスタート。ラウンジを利用する子どももおとなも心地よく過ごせる場づくりを目指している。なお、ウエルキャン参加者は、学校での出席扱いとなる仕組みも利用できる。

#### 5. ウエルコミの活動について

柔軟な発想による企画の運営により、様々な組織同士のコラボレーションが実現し、活動への付加価値が高まることで、市民の積極的な参加者が増加している。また子どもの居場所に関しては、オープンスペースのラウンジ利用は、施設利用者と子どもが自然と声をかけるような関係性が、多世代との交流につながっている。

参加者からの質問の中で、ウエルコミのような居場所を他の地域で作る予定はありませんかという質問に対し、ウエルシアからは、施設の確保、地域の市民活動の状況、行政の理解など複合的に解決できる場所があれば出店の可能性はありますとの回答がありました。このほか民間企業が市民活動支援に参入することについて、企画を通じての団体同士のコラボの方法、施設の稼働率の相談、コーディネーターの役割などいろいろな質問がありました。

（文責 事務局）



ラウンジの様子

ラウンジの一角にある  
子どもの居場所に関する  
情報コーナー

